

|             |            |    |            |
|-------------|------------|----|------------|
| 昭四五九 第二一八 號 |            | 案起 | 昭和十四年六月七日  |
| 施行          | 昭和十四年七月十三日 | 裁決 | 昭和十四年七月十三日 |
| 課務主         |            | 房官 | 書記官        |
| 經濟部第三課長     |            | 主任 |            |

至急

經濟部長

經濟部第三課長

政務部長

政務部第三課長

總務長官

事務官

セメント製造業者ノ北支運出ニ關スル件

年 月 日

内 閣

興亞院總務長官

商工次官官署

件 名

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通華北連絡部長官ヨリ  
通知有之此段及御回答候事可然御取計  
相煩度

運商本件ニ關シ事務部於ハ既定方針  
遵行上、東運九該支支要望ニ應ジリ奉念  
(別紙添)

B4判起案用紙 富井納

E-0656

0193

經濟部

昭四子第 九の九號

興華北連經二第一三七號

セメント製造業者ノ北支進出ニ關スル件

昭和十四年五月二十七日

興亞院華北連絡部長官 喜多誠

興亞院總務長官 柳川平助殿

首題ノ件ニ關シテハ之ヲ統制スルノ要ヲ認メ義ニ軍特務部ニ於テ方針ヲ決定シ華北洋灰株式會社ヲ設立シ之ヲシテ北支ニ於ケル洋灰ノ生産販賣並ニ之ヲ關聯スル事業ヲ行ハシムルコトナリ  
當時管波書記官東京ニ出張ノ際商工大臣官邸ニ當業者ヲ招致シ二回ニ亘リ協議ノ結果之ヲ設立幹施方ニ付商工省ニ依頼シアリタル處最近ニ致リ業者間ノ一部ニ軍管理工場ノ處置ニ付現地ニ於ケル方針變

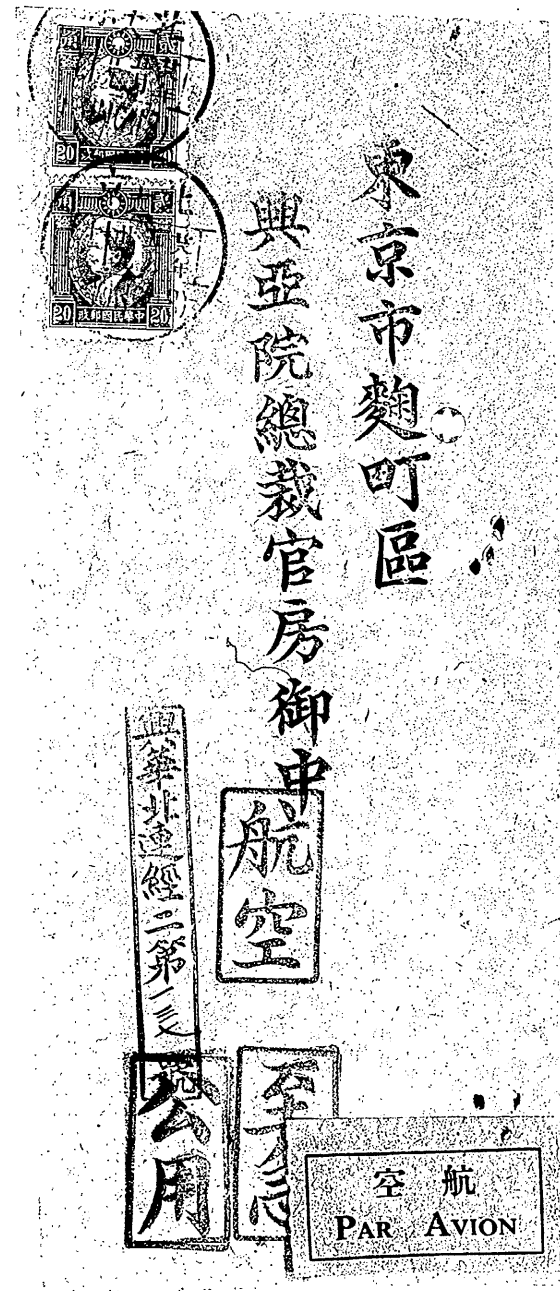
興亞院

更アリタル如キ流説ヲ爲シ設立ヲ遲延セシメ居ル趣ニ付テハ現地ノ方針左記ノ通ニ有之候條商工省ニ對シ御同示方御取計ヒ相煩度

軍管理中ノ

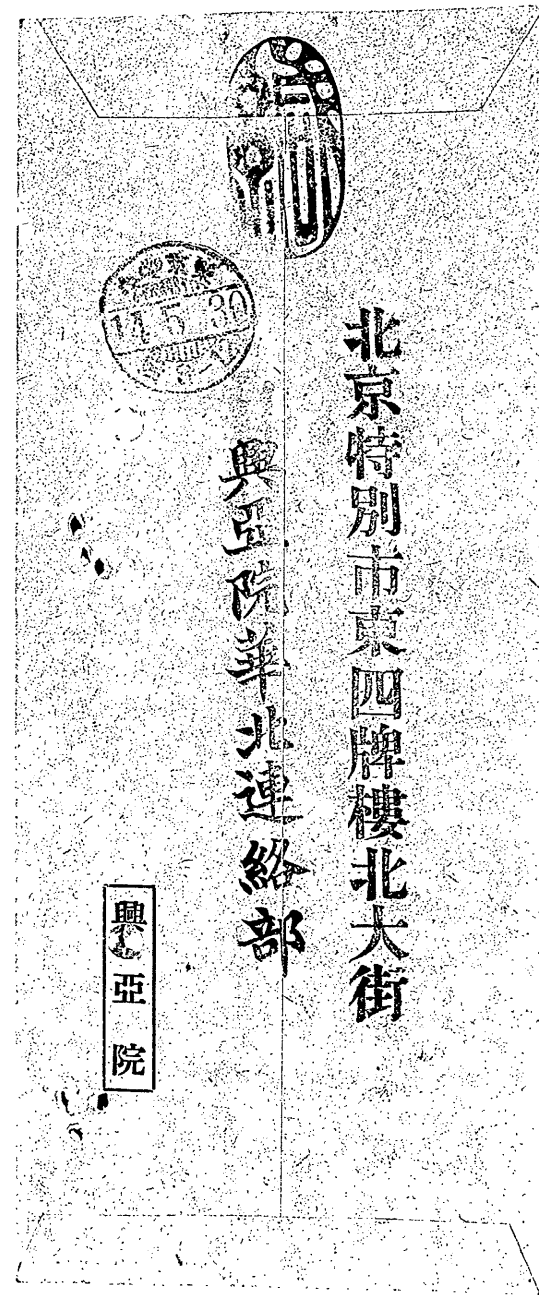
致敬洋灰廠（山東、濟南）磐城セメント受命管理  
西北洋灰廠（山西陽曲縣）淺野セメント受命管理

ノ處置ニ付テハ軍管理工場處理要綱ニ據リ決定セラル可ク而シテ右要綱ニ基キ軍管理ヲ解除セラレタル場合工場ノ正當ナル權利者ニ於テ日本人ニ買却又ハ日支合辦ノ意向アルニ於テハ其ノ相手方ハ華北洋灰株式會社トスルモノトス



E-0656

0195



E-0656

0196



昭一四經發第三二八號

昭和十四年六月十四日

興亜院總務長官

商工次官殿

セメント製造業者ノ北支進出ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通譯北連絡部長官ヨリ通知有之此段及回示候條  
可然御取計相煩度

内閣

B5 タイプライター用紙

E-0656

0199

(件名) 華北洋灰股份有限公司設立許可願件

經濟部長  
經濟部第一課長  
經濟部第二課長  
經濟部第三課長  
經濟部第四課長

政務部長  
政務部第一課長  
政務部第二課長  
政務部第三課長

本文 供覽 經濟部第一課 御回付相煩度

(主任)

主務課 經濟部第二課長

調査官

事務官

昭和十一年一月五日

125

125

經濟部

昭五經收第 一八號

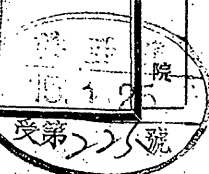
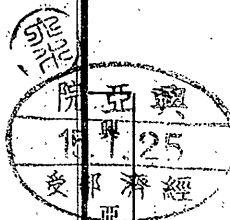
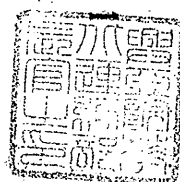
北運經二第九四號

華北洋灰股份有限公司設立許可願ニ關スル件

昭和十五年一月二十一日 興亞院華北連絡部長官 喜多誠

興亞院總務長官 柳川平助 殿

首題ノ件ニ關シ昭一五經發第二四號ヲ以テ御回示相成リタル條件  
中日支合辦組織トスルコトハ右公司設立準備ノ既往ノ經過ニ鑑ミ  
速急ニ取運困難ナルモノト認メラレ一方當地ノ需給狀況ヨリスレ  
ハ至急設立ヲ要スルヲ以テ該條件ハ「可及的ニ日支合辦組織トス  
ルコト」ト改メテ申請者ニ通達シ太原及濟南ニ於ケル軍管理工場  
處理トモ關聯シ可成早キ機會ニ日支合辦トセシムルコトト致度右  
御了知相成度



E-0656

0199